

平成28年度 事業報告

自 平成28年 4月 1日

至 平成29年 3月31日

川崎市内の中小企業の景況感を総合的に示す業況DI（業況判断指数）は、川崎信用金庫の調査によると、平成28年（1—3月期）は前期比10.3ポイント減の△12.1と、大幅な後退を示しました。主な要因は、中国経済の減速・円高株安の影響による取引先からの受注減少等と思われます。

（4—6月期）は、前期比1.9ポイント減の△14.0と横ばいを示しました。（7—9月期）は前期比1.6ポイント増の△12.4と2期連続の横ばい傾向を示しました。なお、小売業、卸売業は改善を示しました。

（10—12月期）は前期比6.5ポイント増の△5.9と4期ぶりに改善を示しました。なお、小売業は個人消費の伸び悩みで後退しました。次期の見通しについては△7.1と今期比1.2ポイント減の横ばいを予想する結果となっています。

こうした中、当連合会は、4つの基本理念に基づく、4本柱としての事業活動を実施してまいりました。以下、主だった事項について述べてまいります。

第1の柱である、情報受発信事業では、毎月、市商連ニュースを発行するとともに市商連ホームページに商店街イベント情報や支部長会議の結果報告などを掲載してまいりました。また、「iine.kawasaki」（いいね！川崎）をフェイスブックページとして立ち上げ、市内商店街に関する情報や話題を発信してまいりました。

第2の柱である、政策提言活動では、自民党・公明党・民主党の市議団とそれぞれヒヤリングをおこない、商店街の実情と街路灯電気料の補助の増額を要望いたしました。

第3の柱である、活性化事業としては、市商連主催の事業である商業情報研修事業では、「店舗・商店街の魅力アップ講座」をテーマに3月6日（月）にエポックなかはらにて商店街活性化フォーラムを実施いたしました。

また、地区商連や単会への支援事業としては、

- ① 地区商業調査研究支援事業では、中原区商連夏季大学の調査研究に対して支援を行ってまいりました。
- ② 商店街魅力アップ支援事業では市内35地区の商店街イベントに対してアンケート調査や助言などを行いました。

③ 食の安全知識普及事業では、市内5カ所の商店街において、「がんばろう福島応援フェア」をテーマに福島県産品の風評被害の除去と県産品の販売に努めました。

⑤ 街路灯の広告掲出支援事業では、(株)アルセスと包括契約を結び、さぎ沼商店会や高津1番街などで、商店会収入につながる企業広告の確保への支援を行いました。

第4の柱である後継者育成事業(青年部事業)では、青年部が2か月に1回会合を行い、青年部活動の検討や海外派遣者からの報告及び親睦事業としてのボーリング大会などを行ってまいりました。

また、年度途中で承認をいただいた補正事業として、(1)消費喚起事業(サンクスフェア2)を27年度の川崎プレミアム商品券取扱推進事業の継続として川崎市からの支援に基づき実施してまいりました。①サンクスフェア2の企画・検討及び実施、②ポスター、ステッカー、応募券の原案作成、③ホームページの作成(thanksfair.com)などを行ってまいりました。

次いで、(2)地域商業イベント連携被災地応援フェア事業(熊本地震被災地応援フェア)を10月から11月までの市内商店街におけるイベントと連携して熊本県産品の販売等応援フェアを開催し、集まった募金を義援金として寄付してまいりました。

これらの事業実施・取り組みにあたりましては、会員各位のご理解・ご協力と、川崎市、川崎商工会議所並びに商連かながわのご支援を賜り、所期の目的を達成することができましたことを、心から感謝するものであります。

以下、実施した事業概要についてご報告いたします。